

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

議案第2号

飛島村地域公共交通計画の評価等結果（3年4月～4年3月）

飛島村地域公共交通計画の評価等結果 （3年4月～4年3月）	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
名港線・蟹江線の利用者数の増加 目標値 名港線：過去の最大値 蟹江線：R 5年度において5%増 （年1%の増加）	バス利用促進に係る記事を 村の発行する広報誌へ掲 載。	運行事業者から の利用者数報告 を用いて計測	（令和3年度実績） 名港線：96,321人 蟹江線：149,806人 （計画策定時目標値） 名港線：120,500人 蟹江線：165,000人 （前年度比） 名港線：1.9%増 蟹江線：14.4%増 （令和元年度比） 名港線：-16.8% 蟹江線：-6.1%	名港線、蟹江線ともに前年度と比較して、 利用者数が増加するという結果となった。 コロナウイルス流行前の利用者数には両路 線とも戻ってはいないが、徐々に回復傾向 にある。引き続き感染症対策を実施し、利 用者数の増加を図っていきたい。	
利用者数に対する財政支援額の推移 指標＝財政支援額÷年間総利用者数 目標値 563円/人	バス利用促進に係る記事を 村の発行する広報誌へ掲 載。	令和3年度決算 及び運行事業者 からの利用者数 報告を用いて計 測	令和3年度利用者1人あたりに対する財政支 援額 財政支援額131,014,535円÷年間利用者数 246,127人＝532.3円	令和2年度に新たに購入したバスについ て、費用を令和3年度から1年分支払う必要 があるため、利用者1人あたりに対する財 政支援額が増加したと考えられる。しかし 令和3年度目標値の563円を下回っているた め、引き続き適切な運行維持を目指す。	
飛島公共交通バスの事業の浸透度 住民アンケート調査における住民の公共交 通の利用割合 目標値 40%	—	住民アンケート調 査	—	—	5年に1回実施する アンケート調査時に 評価
飛島公共交通バスの事業の投資の理解度 住民アンケート調査における住民の財源の投 入額に対する妥当を選択する割合 目標値 40%	—	住民アンケート調 査	—	—	5年に1回実施する アンケート調査時に 評価